



受け継がれる
ものづくりへのこだわり
～「ホシマル印」のアルミ製家庭用品～
株式会社 大一アルミニウム製作所
作・公所 弘真

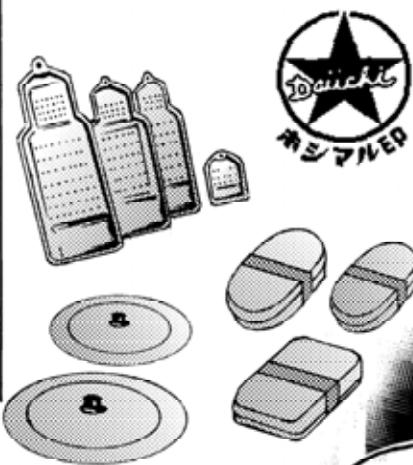
まちこうば
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

大一アルミニウム製作所が誕生したのは昭和27年

創業者平山昌一氏が
鉄瓶屋での奉公と
金属加工業者での
修行を経て独立

弁当箱やおろし器
フライパンカバー等

「ホシマル印」の
名で知られる
アルミ製家庭用品の
老舗である



年間30～40万個は
製造していたと
思います

野球選手や
キャラクターを表面に
印刷したものが飛ぶ
ように売れましたよ

アルミ製の弁当箱は
創業当時から製造
しています

私が入社した
当時の主力製品
でしたね

平山秀夫 社長

MADE
IN
JAPAN

あらためて
評価されて
いる

中国をはじめとする海外製品が
市場にあふれるなか、
”メイド・イン・ジャパン”が

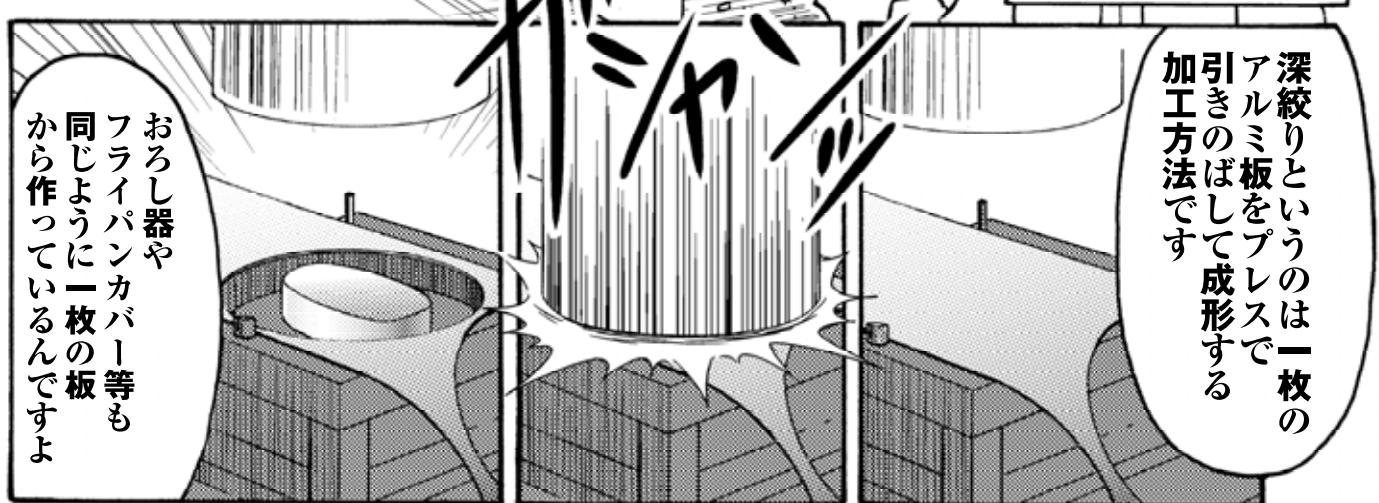
弊社では幼児や女性に
ターゲットを絞り込み
質の高い製品を提供
させていただいています

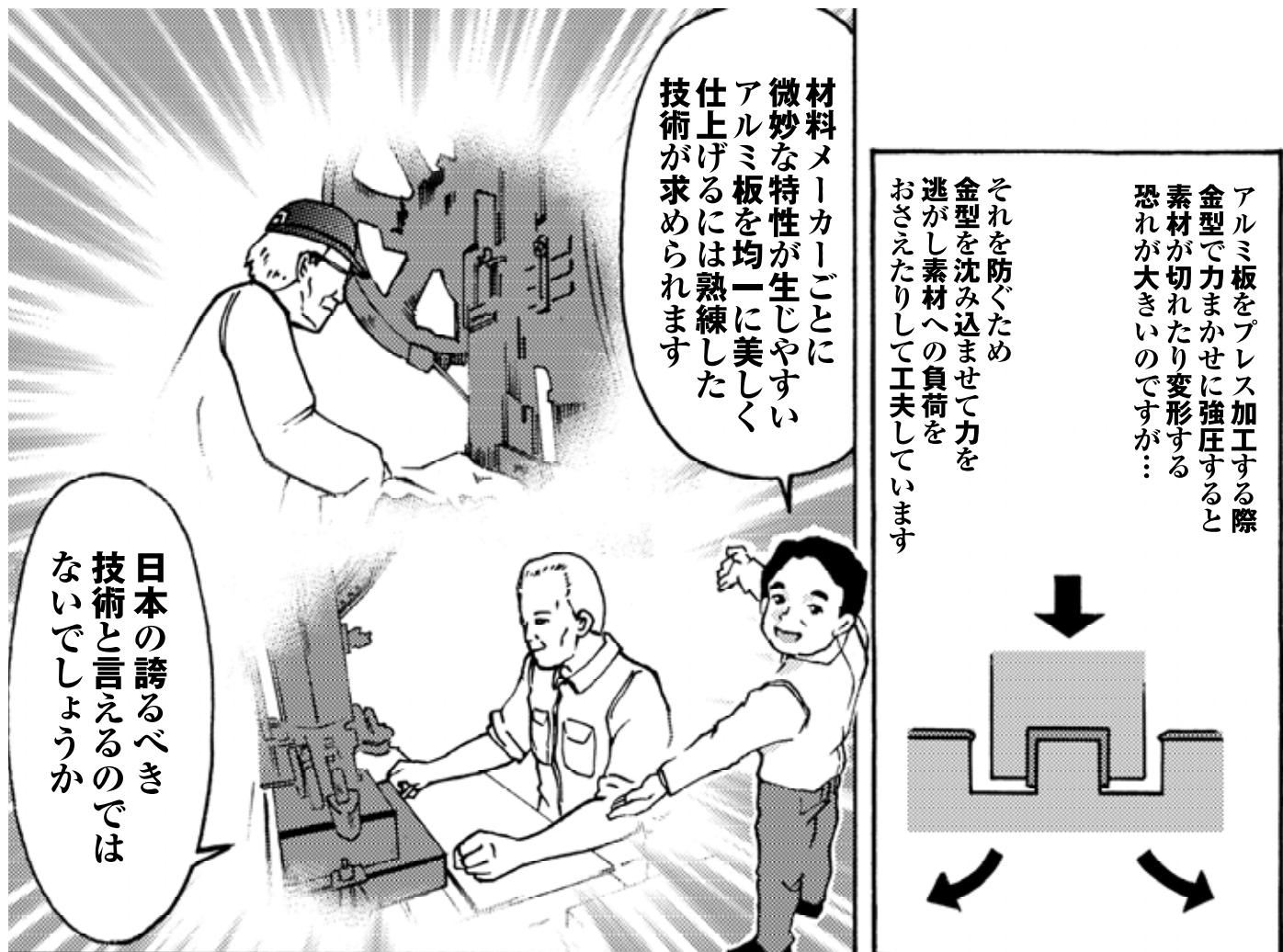
その後アルミ製の
弁当箱を製造する
会社は少なくなつて
しまいましたが



アルミの長所

- ・軽くて丈夫…鉄の1/3の重さで扱いやすい
- ・加工が容易…様々な形状に加工できる
- ・エコ…リサイクル可能な素材の代表





※OEM…得意先ブランド商品の受託生産

毎年7月には
東京ビッグサイトで開催
される国際見本市にも参加



また近年アルミ以外の
金属製品も多く手がける
ようになってきた

常に新製品開発を
心がけその存在感を
保ち続けている



弊社のお家芸とも
言えます

確かに検査は細かくて
手がかかりますが
日本人ならではの
繊細な感覚が
求められる作業です



お客様の品質に
対する要求が
高まればこそ
弊社の熟練技術が
生きてくるわけです

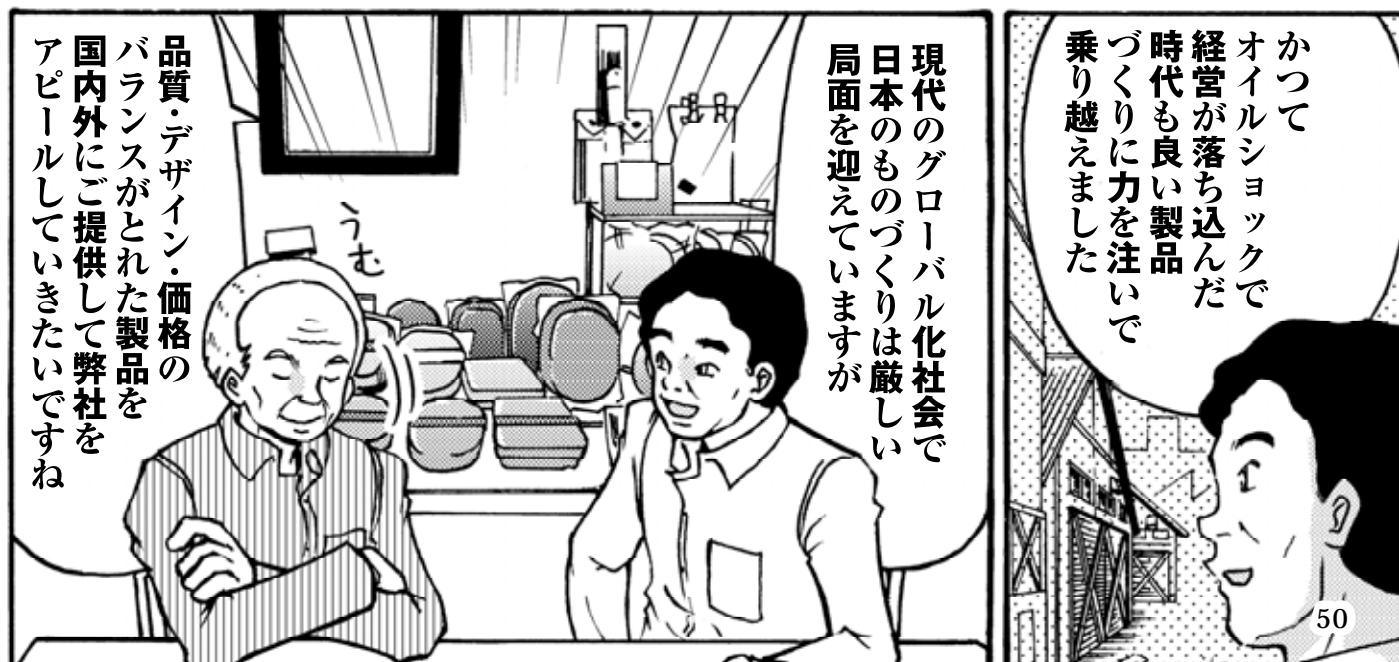
ですが最終的な
仕上げや検査はすべて
弊社内で行っています



品質・デザイン・価格の
バランスがとれた製品を
国内外にご提供して弊社を
アピールしていくたいですね

現代のグローバル化社会で
日本のものづくりは厳しい
局面を迎えていますが

かつて
オイルショックで
経営が落ち込んだ
時代も良い製品
づくりに力を注いで
乗り越えました



こうしたものづくりへの
こだわりがお客様からの
信頼を生む

はい
大一アルミニウム
製作所ですが

あつ すみません
「ホームピッカー」に
ついて聞きたいん
ですけど…

どちらで
買えるので
しょうか？

今度娘が
結婚するので
同じように
持たせて
あげたくて…

時代にそれは
時にそれは
世代を超えて…

アルミ加工の高い技術で
築き上げたものづくりに
対する姿勢は

数世代にわたる
信頼の源と
なっている

